昭和61年8月5日洪水から40年の関連行事

巡回パネル展開催　～水害の教訓を未来へ活かす～

- 吉田川の堤防が4カ所で決壊し、大崎市鹿島台（旧鹿島台町）地域で甚大な被害が生じた「昭和６１年８月５日洪水」から令和8年で４０年が経過。
- 地域に大きな被害をもたらした水害の記憶を決して忘れることなく、後世に語り継ぎ、地域の方々に防災意識を高めていただくとともに、実践的な流域治水の取組に繋げていただくことを目的に、甚大な浸水被害が発生した地域を中心に巡回パネル展を開催。
- 開催初日の鹿島台公民館では、地域関係者が多数来訪するとともに報道関係者による取材もあり。



【実施概要】
日時：令和8年7月27日（月）～令和8年11月12日（木）
場所：11会場（左図参照）
来場者：多くの方々

鹿島台公民館



鹿島台公民館での取材対応



JR鹿島台駅



鹿島台鎌田記念ホール



宮城県大崎合同庁舎



松島町文化観光交流館

